

学校再編実施計画（案）に関する意見交換会  
（認定こども園えどさき）

日時：令和8年7月3日（金） 9：30～9：55

場所：認定こども園えどさき

冒頭、稲敷市役所（教育委員会教育政策課）から、「R 8 稲敷市学校再編に関する意見交換会資料」を基に説明を行った上で意見交換を実施したところ、質疑応答の概要は以下の通り。

また、意見交換会終了後に、お問い合わせフォームを開設し、ご意見等を募集した。

## 1. 意見交換会における質疑応答

### 【①質問】

資料の17 ページに、浸水想定区域のため防災対策を講じるとあるが、現時点ではどのような案や対策が出ているか伺いたい。

### 【①回答】

災害があった際にどのように避難するかという避難確保計画の策定している。

また、水害の予測時は、休校措置をとる。万が一、学校で被災した場合は、校舎3階などへの垂直避難することを想定している。

なお、学校のかさ上げ等のハード整備は、考えていない。

### 【②質問】

統合後、スクールバスの導入を検討していると思うが、徒歩・自転車通学向けに、街灯や歩道などの整備は検討しているか。

### 【②回答】

スクールバスの目安は、小学校の場合は2km以上であり、2km未満であれば徒歩通学になる。

学校の統廃合までには時間がかかるため、統廃合が決定した場合には、保護者等と意見交換を行い、その中で改めて街灯や歩道などの環境整備について要望が出れば、検討していくことになる。

なお、君賀小学校と鳩崎小学校の江戸崎小学校への統合の際も、様々な検討を行ってきた状況である。

### 【③質問】

部活動がある場合のスクールバスはどうか。

### 【③回答】

部活動を考慮した上でスクールバスを検討することになる。

なお、実際に、東中学校では部活動を考慮した上でスクールバスの運用をしている。

## 2. お問い合わせフォームにおける質疑応答

### 【④意見】

意見交換会の際に、児童の安全への不安が強いという保護者の意見があり、統合する・統合しないはひとまず、大人たちの都合よりも、安全、交通、保健に関する専門家の声を、子どもたちの安全のために、最優先に通してほしいと切に願っている。

【④回答】

子どもの安全を第一に考え、教育環境を整備していく。

また、統合する際には、説明会等を改めて開催し、様々なご意見等について、検討を行い、内容により専門家にも相談したい。

【⑤質問】

統合を2回経験することがないようにと説明があったが、現在の高田小学校の2年生は、統合を2回経験する計画ではないか。

【⑤回答】

現在の高田小学校の2年生は、6年生（令和12年度）の時に、江戸崎小学校に統合（1回目）し、中学2年生（令和14年度）の時に、新利根中学校と統合（2回目）する。

確かに、統合の数としては2回であるが、2回目の際は、江戸崎中学校の校舎を使用しますので、統合扱いにはしていない。

【⑥要望】

浸水想定区域にある東中学校への統合は、慎重に検討いただきたい。

自然災害の多い日本では、防災面から、浸水想定区域外にあることや新しい校舎であるため、桜川小学校を活用することや新たな校舎を建設することが望ましいと思う。

東中学校へ統合する場合は、浸水想定区域であることに加え、耐震性や設備について、十分な確認・見直しが必要である。

また、スクールバスで通学する児童・生徒が増え、登校時間も早まり、通学時間が長くなることで、子どもたちの身体的・精神的な負担が大きくなることが心配である。

統合後は、新しい学校・友達・先生など、子どもたちは大きな環境の変化を経験し、更に長時間の通学が加わることで、学校生活や学習に影響が出るのではないかと思う。教育環境を整えるのも大切であるが、何よりも優先すべきは子どもたちの命と安全である。

自然災害は起こらないと断言できるものではないため、浸水想定区域にある学校へ統合するのであれば、施設の安全性について改めて十分な点検や設備の見直し、必要に応じた建て替えなども含めて検討していただきたい。

子どもたちが安心して学び、安全に学校生活を送れる環境を第一に考えたうえで、統合計画を進めていただきたい。

【⑥回答】

子どもたちが安心・安全に学校生活を送れる環境を第一に考えたうえで、統合計画を進めていきたいと考える。

また、東部地区の学校の位置については、見直しや廃止の検討をいただきたい旨の要望（請願）が出ている状況であり、学校再編に当たっては、各地区の保護者等と意見交換を行い、学校統廃合の必要性、既存校舎の安全性や防災対策など、総合的に判断して計画を進めて行きたいと考える。